

NHK大河ドラマ特別展「麒麟がくる」会場構成業務委託仕様書

この仕様書は、岐阜市歴史博物館（岐阜市大宮町2丁目18番地1）で開催されるNHK大河ドラマ特別展「麒麟がくる」にかかる会場構成業務を示すものである。受注者は本仕様書に基づき、発注者と入念な打合せをおこない、博物館にふさわしい業務を実施しなければならない。このほか、本書に記載していない軽微な変更・追加事項については、発注者の指示により誠実に実施する。

1 業 務 名

NHK大河ドラマ特別展「麒麟がくる」会場構成業務委託

2 場 所

岐阜市大宮町2丁目18番地1

3 業 務 期 間

契約締結日から令和2年12月31日まで

ただし、次については別途期限を定める。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| (1) 看板類の設置 | 令和2年8月24日から8月31日まで |
| (2) グラフィックパネルの製作 | 令和2年9月8日まで |
| (3) 展示具製作 | 令和2年9月8日まで |
| (4) 会場設営 | 令和2年8月27日から9月8日のうち5日間程度 |
| (5) 看板類の撤去（屋外） | 令和2年11月4日 |
| (6) 会場撤去（エントランス） | 令和2年11月4日から11日まで |
| (7) 会場撤去（展示室内）・廃材処分 | 令和2年11月7日から11日まで |

なお、岐阜市歴史博物館内での業務時間は、展示作業待ち等の特別の事由を除き、午前9時から午後5時30分の間に行うものとする。来館者の通行や観覧等に支障が生じるおそれのあるときは、開館時間（午前9時から午後5時まで）以外の時間に実施すること。エントランス、ガラス面グラフィックの作業を行うときは開館時間以外とする。日程は変更する可能性がある。詳細な日程は発注者と協議する。

4 業 務 内 容

業務にあたっては、特別展会場図（参考資料①）、展示作品リスト（参考資料②）、展示什器リスト（参考資料③）、展示作品写真（参考資料④）、パネル類資料（参考資料⑤）、仮設展示ケース組み立て・加工・製作等資料（参考資料⑥～⑨）を参照。

(1) 特別展会場設計図の製作

参考資料①～⑨やプロポーザル実施時に提案した企画書に基づき、発注者と協議しつつ特別展会場設計図を製作し、作業工程に即した業務の実行スケジュールと実施体制を調整する。

① 展覧会詳細

この展覧会では、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」と連動し、ドラマの主演・明智光秀のほか、織田信長、斎藤道三、そして豊臣秀吉や長宗我部元親、細川ガラシャなど、

光秀に関わった人々にまつわる品々、同時代の歴史資料などを紹介し、明智光秀と彼が生きた時代を浮き彫りにする。

- a 会期：令和2年9月18日（金）から令和2年11月3日（火・祝）まで
※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、展覧会の開催期間の変更が生じる可能性がある。
- b 目標来場者数：31,000人
- c メインターゲット：全国の歴史愛好者・NHK大河ドラマ視聴者

<展示構成案>

	内容	テーマカラー
プロローグ 戦国美濃の下剋上 ー光秀以前ー	足利政権や、やがて光秀が仕えることとなる斎藤道三が統治する岐阜の情勢など、光秀が誕生した前後の時代背景を紹介する。	水色
第1章 明智光秀 ー謎多き人物ー	遺された所縁の品々を通じて光秀の人物像を紹介する。	緑色
第2章 光秀をめぐる人々 ー家族と、盟友とー	のちに細川忠興の正室となる光秀の娘・玉（細川ガラシャ）や、荒木村重など、光秀を取り巻く人々を紹介する。	黄土色
第3章 信長の家臣へ ー主君と、好敵手とー	後半生の主君となる織田信長。「本能寺の変」後、光秀を討つことになる豊臣秀吉なども交え、信長家臣団の中の光秀を紹介する。	紫色
第4章 戦い ー東奔西走の日々ー	信長家臣団の一人として、勇猛果敢に戦場を駆け抜けた光秀。この時代の合戦の様子を、近江・坂本など領国に残る資料などで紹介する。	青色
第5章 本能寺の変 ー光秀、決起すー	日本の誰もが知る歴史的事件「本能寺の変」、続く「山崎の戦い」までを紹介する。	赤色
エピローグ 本能寺の変のその後	「本能寺の変」のその後を紹介する。	茶色

②特記事項

- ・図面に配置する際に、キャプションの幅および展示作品（以下、「作品」とする）とキャプション間の幅（10cm）を確実に考慮すること。
- ・パネル、バナーは視認性を考慮した設置方法とする。展示構成によっては、パネル、バナー設置のために必要な展示具を準備すること。
- ・以下のパネル、バナーは支給する。
 - a 作品キャプションパネル（210mm×高さ297mm、ウッドラック、釘打ち可）
展示作品リスト（参考資料②）の各作品の近くに1枚設置すること。展示構成によっては、視認性のため、大きさを調整したものを新規で製作すること。新規で製作する場合データは支給する。（参考資料⑤）
 - b 補助解説パネル（ウッドラック、釘打ち可）
展示作品リスト（参考資料②）の補助解説の項目に記載がある場合は、補助解説パ

ネルを設置すること。同一項目（例：織田信長）が記載されている作品のどれか1点の近くに1枚設置する。ケース外設置でも可。

c 釈文パネル（297 mm×高さ 210 mm程度、ウッドラック、釘打ち可）

展示作品リスト（参考資料②）の釈文パネルの項目に○がある場合は、釈文パネルを作品に沿うように設置すること。

d 年表（1750 mm×高さ 1,200 mm、インクジェット出力＋木製パネルシート貼り）

1枚設置すること。設置するのは展示室内外どちらでも可。

e 人物解説パネル

（840 mm×高さ 1,200 mm、インクジェット出力＋木製パネルシート貼り）

2枚横に並べて設置すること。設置するのは展示室内外どちらでも可。

f 関連図

（840 mm×高さ 1,200 mm、インクジェット出力＋木製パネルシート貼り）

1枚設置すること。設置するのは展示室内外どちらでも可。

g ゆかりの地パネル

（1,680 mm×高さ 1,200 mm、インクジェット出力＋木製パネルシート貼り）

3枚設置すること。設置するのは展示室内外どちらでも可。

h 章バナー（900 mm×高さ 2,550 mm、トロマット出力）（参考資料⑤）

各章1枚計7枚を展示室内に設置すること。バナーには章解説の文章が入っているため、解説が目視できるようバナーの下部が床面から500mm以下とすること。バナー形状での設置ができない場合は、パネル（ウッドラック厚さ7mm）もしくはグラフィックで製作する。

i コラム（750 mm×高さ 1,200 mm、インクジェット出力＋木製パネルシート貼り）

1枚設置すること。設置するのは展示室内外どちらでも可。

- ・基本的に指示のない作品は、すべてケース内展示。
- ・国指定の作品は考古遺物を除き基本的に既存ケースに展示すること。
- ・掛軸はできるだけ巻き上げがないように、配慮すること。
- ・特別展会場の設計に際して、原則として来館者が通る会場導線の幅は1800 mm以上を確保すること。構造・演出的に困難に導線の幅の確保が困難な場合は、発注者と協議し決定する。
- ・仮設ケースを製作する場合は調光機能付きライトの貸与は可。ただし、ライティングレールは設置のこと。ライトを新規に設置する場合は紫外線をカットするものとする。
- ・各章のテーマカラーを効果的に用いること。なお、作品キャプションパネルと章バナーにはテーマカラーが入っている。
- ・展示替にかかる作業性を考慮すること。
- ・ラウンジでは映像を放映予定である。放映機器の準備・設置は発注者が行う。

■展示作品リストについて

・展示作品リスト（参考資料②）の展示場所の項目

a 壁面：壁面に展示すること。

b 平台：平台に展示すること。

- c 斜台：斜台またはのぞきケースに展示すること。のぞきケースに展示する場合は、斜台不要。
- ・展示作品リスト（参考資料②）のその他の項目
 - a 既存ケース：仮設ケースは不可。壁面ケース、ハイケース、アンドンケース、立ケース、のぞきケースに展示すること。
 - b 鑑台有・兜台有：兜及び胴の支柱は支給する。
 - c 刀掛：刀掛が必要。
 - d 巻上げ可：巻上げしても可。
 - e 免振台：支給する免振台を使用すること。
 - f 結界必要：支給する結界を使用可。
- ・展示作品リスト（参考資料②）通番No.62, 79, 80, 85 は支給する免振台を使用する。免振台は 425 mm×425 mmで±250 mmの幅を見込むこと。釘打ちできる天板台は支給する。
- ・展示作品リスト（参考資料②）通番No.20, 36, 94, 163 の刀剣類を展示する場所は濃い色合いのバックとなるような造作を行うこと。
- ・展示作品リスト（参考資料②）通番No.117 は蓋を別置きし、蓋の裏面も展覧可能とすること。
- ・展示作品リスト（参考資料②）通番No.182, 183 は展示場所を壁面・斜台としているが、壁面に展示する場合は、t100 のバックパネルを製作のこと。作品が小さいため、壁面に設置した場合、来館者からの視認性が悪くならないように、厚みがあるバックパネルに展示する。

（2）看板類製作・設置（いずれも文字情報・展示作品支給）

博物館屋内外に設置する看板類を製作する。今後製作予定のポスター・チラシデザインと統一性を図ること。「麒麟がくる」のロゴデータは支給する。

- ① 屋外広告塔 長さ 4,460 mm×幅 800 mm 2 面
 - ・各片面全面貼り替え・マット紙を使用。
 - ・パネル支給。
 - ・レタリングデザイン、色彩、文字等は発注者と打ち合せのこと。
 - ・風雨に耐えるものとする。
 - ・屋外
- ② テーマタイトル 長さ 1,620 mm×幅 1,000 mm 1 枚
 - ・パネル片面マット紙貼り。裏面 4 隅マジックテープ付き。
 - ・パネル支給。
 - ・レタリングデザイン、色彩、文字等は発注者と打ち合せのこと。
- ③ 懸垂幕 長さ 10,000 mm×幅 1,800 mm 1 枚
 - ・メッシュターポリン、ハトメ加工。
 - ・レタリングデザイン、色彩、文字等は発注者と打ち合せのこと。
 - ・岐阜市歴史博物館外壁の昇降機に取付。

- ・屋外

④展覧会広告看板 長さ 2,000 mm×幅 3,600 mm 1 枚

- ・グラフィックシート貼り、オーナメント止め。
- ・脱着式アルポリックパネル（4 分割、幅 900 mm）支給。
- ・レタリングデザイン、色彩、文字等は発注者と打ち合せのこと。
- ・屋外

⑤ガラス面グラフィック 長さ 2,555 mm×幅 2,130 mm 1 枚

- ・屋外

（3）仮設展示ケース組み立て・製作等

①仮設展示ケース組み立て 1 台

- ・光秀袴展示用
- ・1,000 mm×1,800 mm×高さ 570 mm（全体の高さ 870 mm）
- ・透明アクリルカバー1,000 mm×1,800 mm×高さ 300 mm
- ・展示ケース支給品の組立・表装補修
- ・ケース製作業者の立会い、指示のもとで、組み立て・設置を行うこと。
- ・参考資料⑥のとおり

②仮設展示ステージの組み立て 1 台

- ・福知山石垣展示用
- ・1,000 mm×2,000 mm×高さ 100 mm
- ・展示ステージ支給品の組立・表装補修
- ・ケース製作業者の立会い、指示のもとで、組み立て・設置を行うこと。
- ・参考資料⑦のとおり

③エントランス造作 1 式

- ・高さ 3,600 mm程度
- ・自立し、転倒防止策を講じること。
- ・表具加工紙貼り、印刷有り
- ・正面パネルは物販販売レジスペース（2,100～2,200 mm程度）のバックパネルとなり、入館したと同時に展覧会名等が視界に入るようにすること。
- ・正面パネルの物販販売レジスペースの右隣りに音声ガイド販売スペース（1,000 mm程度）のバックパネルとなること。
- ・展覧会出口方面に「カエルの香炉」の撮影スペースのバックパネルとなること。
- ・400×500×1000 の角柱製作・固定し、上に「カエルの香炉」を固定する。
- ・「カエルの香炉」は 180×120×120 mm程度、3 本足を固定する。
- ・展覧会会場に出入りする来場者の導線を確保すること。
- ・2 階から天板部分が見えるため、天板は作成すること。

- ・参考資料⑧、⑨のとおり

(4) 展示具製作

①刀掛け製作

- ・展示作品リスト（参考資料②）の通番No.20, 36, 94, 163 はアクリル製の刀掛を4台製作するか、または既存木製刀掛を使用すること。既存木製刀掛を使用する場合は、4台分の刀掛用の木製の楔（30mm×30 mm程度）を製作し、白布を準備すること。

②展示ケース用カッティングシート貼り付け

1 式

- ・発注者が指定する展示ケースに貼りつけること。

(5) 什器類の製作・設置

特別展会場に設置する仮設展示ケース、展示台、斜台、壁等の什器類の製作や加工を必要に応じて行う。展示室においては基本的に岐阜市歴史博物館が所有する展示什器リスト（参考資料③）を使用するが、不足がある場合は受注者が製作する。また、発注者と協議の上で岐阜市歴史博物館が所有する什器を改造し、使用することも可とする。

(6) 会場設営

上記（1）で製作した設計図に従って、特別展会場に仮設展示ケースや什器、展示パネル等を設置する。設営作業は令和2年9月4日から令和2年9月8日までの間に行うものとする。展示設営作業後は発注者による検査を受け、検査によって指摘があった場合は開場までに調整すること。

(7) 会場撤去

会期終了後、令和2年11月4日から令和2年11月11日までに特別展会場の仮設展示ケースや什器、パネル等を撤去し現状回復をする。

- | | | |
|---|----------|--|
| 5 | 実 施 方 法 | 本仕様書に基づき施工する。
本仕様書に明記のない場合でも、当然必要とされるものは請負金額の範囲にて誠実に実施すること。 |
| 6 | 支 払 条 件 | 全ての業務が終了し、全ての成果物が納品され、発注者の検査に合格したときは、発注者は、発注者の定める手続きに従って、本契約に定められた金額を支払うものとする。 |
| 7 | 疑義に対する協議 | 本仕様書に明記のない場合、記載内容に相違のある場合は、発注者と協議してその指示を受ける。 |
| 8 | 軽微な変更等 | 現場のおさまり、取合せなどの関係、もしくは現場の状況によって、材料の寸法・取付位置など、本仕様書によりがたい場合の軽微な変更・ |

追加事項については、請負金額の増減なしに発注者の指示によりおこなう。

- | | | |
|----|-----|---|
| 9 | 養生 | 作業場内、資材搬出入経路では、建物・床面などに汚染及び損傷の恐れがあるときは適切に養生する。 |
| 10 | 実施 | <ul style="list-style-type: none">・実施に先立ち、受注者は契約後直ちに着手届・業務主任者届・工程表等必要な書類を作成し、発注者の承諾を得ること。・<u>また、実施に先立ち、サイズ等現場確認をおこない、素材等の提示や実施設計図面等必要な書類を作成し、発注者の承諾を得ること。</u>・作業終了後は発注者立会いのもと検査を受け、速やかに完了届・業務実施写真を提出すること。 |
| 11 | 材料 | <ul style="list-style-type: none">・材料は新品とし、品質良好で経日変化・外部からの負荷等に対して耐久性のあるものとする。・規格品については、これを使用すること。・空気環境等の展示室環境に十分配慮し、フォースター材を用いること。・材料の選定については発注者と協議を行うこと。 |
| 12 | その他 | <ul style="list-style-type: none">・本業務にあたり、岐阜市歴史博物館の設備・器具等に摩耗・損傷等の異常が発生した場合は、ただちに発注者に報告し、双方協議のうえ契約の範囲内で適切に対処すること。・業務の実施日は、事前に発注者と協議の上行う。・本仕様において製作したデザイン等の著作権はすべて発注者に帰属するものとする。 |